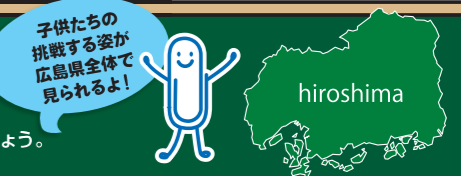


# 果敢に挑戦し、がんばる子供たち！



児童生徒たちが学校、地域など、様々な場面で果敢にチャレンジしている活動や成果をあげた事例です。親子で読んで考えたり、話し合ったりする機会をもって、新たな挑戦や目標を一緒に探してみよう。

## 呉市立長迫小学校

### エネルギー教育で小学校日本一になりました！

呉市立長迫小学校は、平成20年度からエネルギー教育を実践しています。児童が率先して活動に参加する姿勢や、地域の人たちとの積極的な連携が高く評価され、全国の小学校で1校のみが選出される「第8回エネルギー教育賞 最優秀賞」(平成25年度)を受賞しました。

#### 活動内容

#### 創意工夫を持ち寄り、活動は地域に拡大！

これまで続けてきた活動に加え、毎年新たに創意工夫を凝らした、エネルギー教育に取り組んでいます。地域と連携した「グリーンカーテンプロジェクト」や児童会によるエコ点検活動「もったいない隊」、「学びを生活に生かす力」を育成する授業など、活動範囲を校外にも広げ、地域を巻き込んだ活動を実践しています。



グリーンカーテンプロジェクトの取り組みです。エコポイントの掲示もしています。

#### 児童の声

- いろいろな場所で発表することができた。
- 他の学校ではできない体験がたくさんできた。
- 家でも家族みんなでエコ活動をするようになった。
- 毎年がんばっているけど、なかなか最優秀賞が受賞できなかった。地域の人からの支援の広がりもあり、今回は最優秀賞を受賞できて本当に良かった。

## 三原市公立中学校生徒会連合会

### より良い三原を創るため、新たな挑戦がはじまる！

三原市の全公立中学校10校の生徒会が、「三原市公立中学校生徒会連合会」を立ち上げました。今後は、各校が実践している生徒会活動の良い点を10校で共有し、三原市の全ての中学生で統一・協同的に取り組んでいきます。



各校のメンバーが各校生徒会で集約された意見をもち寄り、今年度の活動について討議の様子

#### 活動内容

- みんなで推進！「エコキャップ」回収ボランティア  
ペットボトルのキャップを集めた売却益を、世界の困っている方々のために寄附する活動を、市内全校での統一した取り組みとして実施。
- みんなで発信！「学校新聞」の発行・交流  
生徒会連合会の取り組みとして、各校の生徒はもちろん、市民の方々にも活動を広く知ってもらうため、各校の活動をまとめた「学校新聞」を発行。

#### 生徒の声

10校が連携するこの会が、「新しい、より良い三原を創っていくために、自分たちができることは何か」を仲間とともに真剣に考え行動する組織となるよう、着実に歩んでいきます。応援よろしくお願ひします。



10校の生徒会長が天満三原市長を表敬訪問し、三原市公立中学校生徒会連合会の設立を報告しました。

## 五日市高等学校

### 東日本大震災復興支援・ボランティア活動！

五日市高等学校が東日本大震災復興支援のボランティア活動を始めて、3年目を迎えます。募金活動、千羽鶴制作のほか、今年も8月の被災地訪問に向け、現地に行く生徒をはじめ、大勢のサポートスタッフと共に様々な準備や活動を行いました。



応援メッセージとして、全校生徒で人文字「願晴ろう(ガンバろう)」を作成。

#### 被災地訪問

ボランティアに志願した生徒の中から選ばれた10名が、8月17日～19日に宮城県岩沼市を訪れ、被災した学校を訪問したり、校長先生に防災インタビューを行ったりするなど、被災地の現状と今後の防災活動のあり方について聞き取り調査を行いました。また、仮設住宅で暮らしている住民の方や子供たちと交流し、2年生が描いた絵手紙をプレゼントしました。



▲7月に、書道部が平和と復興を願って「希望の路」と題した大書を作成。



▶作成した大書を背景に、現地の方と記念撮影。

#### 生徒の声

親子が互いを探し合い、逃げ遅れた悲劇を聞きました。災害時にどのような避難行動をとるのか、家族で話し合っておくことの大切さを皆に伝えようと思いました。

## 福山北特別支援学校

### 大好評！「フッキーカフェ」でおもてなし

福山北特別支援学校では、生徒の職業的自立を図り、地域に開かれた学校づくりを進めることを目的とした営業実習「フッキーカフェ」を毎週木曜日に開いています。カフェでは約20席を設け、生徒の手作りケーキとコーヒーのセット(300円)などを提供。他にも、授業で生産した木工品や野菜などの販売、授業で学んだ技術を生かした洗濯サービス(シャンプー洗車/300円、シャンプー洗車とワックス掛け/1,000円)を1日2台限定で用意しています。カフェは5月の開店以来、計8回の営業実習で、315名にご来店いただき、地域の皆さんをおもてなしています。

#### 生徒の声

- お客さんがたくさん来て嬉しかった。
- 「美味しい」と言ってくださったことが嬉しかった。
- お待たせしないよう、もう少し早くお出ししたいと思った。
- 緊張して疲れたけど、やっぱり接客が好きです。



フッキーカフェで接客をする生徒たちの様子

## 芸北小学校・芸北中学校・加計高等学校芸北分校

### 小中高合同のいじめ撲滅キャンペーン

芸北地域で学ぶ、小学生、中学生、高校生が、協力・連携して「いじめをなくそう」という運動を開始しました。今後は、地域や学校でのあいさつ運動など、様々な合同の取り組みを計画しています。

【いじめ撲滅の標語】  
「見ている人も やっている人も いじめだよ  
～あい手のきもちをかんがえて、「おもい」はことばで、つたえよう～

#### 生徒の声

中高一貫教育校である芸北中・芸北分校にある芸北小・芸北分校に芸北小を含めた芸北学園で、新たな試みとして「いじめ防止」の取り組みを行っています。その第一歩として、小中高の児童会と生徒会で共通の標語「見ている人も やっている人も いじめだよ～あい手のきもちをかんがえて、「おもい」はことばで、つたえよう～」を決めました。いじめをしている人、されている人、いじめは本当に当事者だけの問題なのでしょうか。「見て見ぬふり」をしている人はいませんか。日々繰り返されていく、その光景が当たり前になった後では遅いのです。いじめを受けている人の心が、張り裂けた後では遅いのです。...



加計高等学校芸北分校 3年 前生徒会長 榎永 京香さん

## 第40回全国高等学校総合文化祭「2016ひろしま総文」生徒実行委員が集結！

平成28年の夏、広島県で開催される高等学校文化祭最大の総合的な祭典「2016ひろしま総文」の企画・運営の中心となる生徒実行委員の第1期60名が結集し、7月に委嘱状が交付されました。



#### 委員長の意気込み

生徒実行委員長 平田みやび (県立広島商業高等学校 1年)  
2016ひろしま総文生徒実行委員長になりました。平田みやびです。7月に「いばらき総文2014」の視察を行いました。高校生が計画したとは思えないほど壮大な文化祭で驚かされました。でもそんな気持ちと同時に、「私たちの手で、ひろしま総文をどの文化祭よりも壮大で心から良かったと思えるものにする」としっかりと心に決めました。広島のみならず一緒に創り上げましょう！応援よろしくおねがいします。

## 第38回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文2014」の視察に行ってきました 広島県生徒実行委員 視察レポート

広島県生徒実行委員が、「いばらき総文2014」(7月に茨城県で開催)を視察しました。2年後に広島県で開催するには、どのような企画・運営を行う必要があるか、何に注意が必要かなどを、自分自身で見て、心で感じるためです。生徒たちが視察を通して感じた意見や感想の一部を紹介します。



#### 視察レポート

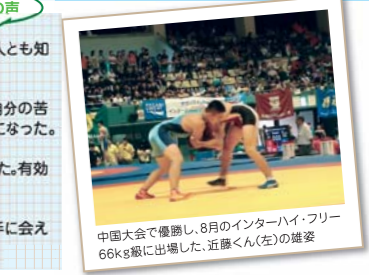
- ・スタッフの案内がしっかりしていて、頼りがいがある。感じの良い人ばかりだった。私たちも礼儀正しくして、お客さんに喜んでもらえるようにしたい。
- ・来場者の案内をする人は、どんな質問でも答えられるようにしておく。外国人に質問されても大丈夫なように、簡単な英語は分かるようになっておく。
- ・2年間でどんなにすごい開閉式を作ることができる。2年後自分たちも、もっとすごい総合文化祭を創ってみたいと思いました。
- ・どんな総文祭にしたかを忘れることなく、三本の矢のように他の仲間たちと協力して最高のものを創り上げていきたい。
- ・スタッフの皆さんはとても丁寧で、とにかくあいさつが元気です。その場の状況を見て自ら動いた。

## 三次高等学校 レスリング部 目標に向け、部活動で奮闘中！

レスリング部の部員数は、男女合わせて6名。「3年間続けられる部活動を始めたかった」「プロレスに憧れていた」「テレビを見て、自分もオリンピックを目指してみたかった」など、入部の理由やきっかけは様々ですが、入部後は部訓である「敢為邁往(かんまいおう)」のとおり、限られた練習時間を有効に使い、いかにして強くなるかを考え、部員全員が高い志のもと切磋琢磨して日々を重ねています。今年是中国大会で優勝し、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場するなど、2年後の地元開催のインターハイ、6年後の東京オリンピックを控え、今後の活躍に期待が高まります。

【部活動をしてよかったことは？】  
試合や遠征でいろいろなところに行けた。他の学校の人も知り合えた。一生懸命全力でやることを知った。  
【部活動をして変わったことは？】  
早寝早起きができるようになった。健康的になった。自分の苦手分野をどうしたら良いか積極的に人に聞けるようになった。  
【勉強との両立、どんな工夫をした？】  
宿題の期日を守るなど、自分の決め事を作って実行した。有効に時間を使うようになった。  
【心に残った出来事は？】  
得意技が決まったときや勝利の瞬間。吉田沙保里選手に会えたこと。先輩や後輩と楽しく過ごした日々。

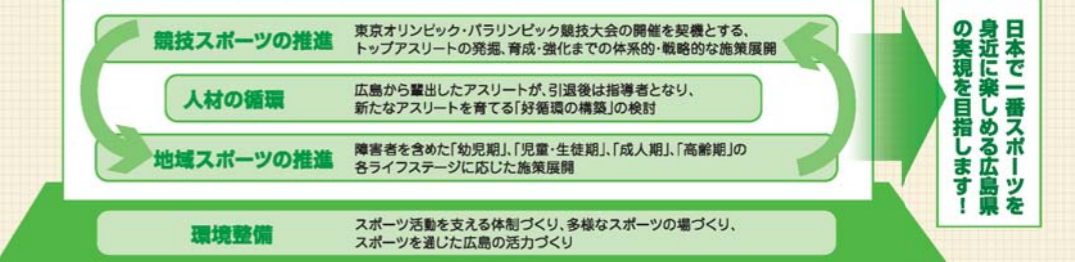
#### 生徒の声



中国大会で優勝し、8月のインターハイ・フリー66kg級に出場した、近藤くん(左)の雄姿

\*「敢為邁往(かんまいおう)」とは「自分の目標を掲げ、それに向けて前に突き進み、困難をもとせず、立ち向かっていくさま。」

## 広島県スポーツ推進計画策定



日本で一番スポーツを身近に楽しめる広島県の実現を目指します！